

# ノアの物語

41layumi

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

虚無戦争。かつてラীগースによって引き起こされた。多元宇宙規模の大戦争。

だが、戦争は終結。後に現れる時天空も撃破。

しかし、ここから物語は始まっていくのだ！

目次

## プロローグ

ある宇宙、そこに、彼らはいた――

「・・・分かるかノアよ！ 今の我々は『空間支配能力』得ただけでなく、全ての宇宙において究極となったのだぞぞ!」

「『霸道神』も！ 『ゴズミックバランサー』も！ 『第8の段階へ至った虚無の獣』も！ 『古き神々』共も！ 『渦動破壊神』も!」

「最早、我らの敵では無いのだぞ!? ならば、我らは・・・!!」

そこにいるは、『暗黒の神』。全ての元凶、名を『ダークサタン』。そして、その目の前にいるのは、『光の神』、『ウルトラマンノア』。

「・・・違うのだ。サタン。それではいけないのだ!」

「何のために、『時天空』を倒した!? 私も含め、我らウルトラ戦士は、貴様の支配の為に戦った訳では無いぞ!」

そう、彼らは様々な多元宇宙を巻き込んだ、大戦争に参加したのだ。名を『虚無戦争』。『ラীগース』が引き起こした。幾つもの多元宇宙、高次元宇宙を巻き込んだ大戦争だ。

そしてその戦争に参加した『霸道神』、『求道神』、『ゴズミックバランサー』、『魔神』、『高次元の理』。それぞれの思惑を持って、彼らもまた戦いに参加したのだ。

それらの存在が仮に敵となれば、ノアやサタンでも相手にするのは不可能に等しかった。

だが、何故二人が、そんな絶対の存在たちを超えたのか・・・何故この戦争が終了したのか・・・その答えは・・・

・・・

「ハア・・・ハア・・・いつまで続くのですか・・・?」

疲れ果て、思わず弱音を吐く白き少女。彼女の名は“白き女王”。  
どんな高次元存在ですら、彼女には叶わない。絶対の存在の一人である。

彼には主たる者がいるのだが、今回はその事は無しでこの宇宙戦争に参加したのだ。

「グシャアアア!!」

「!!?」

そんな彼女に襲い掛かるのは、“ラীগース細胞”。醜く、巨大なその姿は、正に怪物である。

そしてその怪物から放たれた光線は、白き女王に向かっている。

——だが、その一撃は届かない。

「え．．．あ、あなたは!?!」

透明で、まるで水を思わすような体。そう、それは“色彩なき童女”であった。

「．．．」

何も言わず、色彩なき童女はラীগース細胞の中に入り込み．．．破裂した。

「グシャアアア!?!」

「．．．まさかあなたが、助けてくれるとは」

しかし、まだそこには大量のラীগース細胞が立ちはだかっていた。

「余程の事らしいですわね．．．!」

——そしてその頃、別の多元宇宙では

「ハアアア!!」

「ギグヤ!!」

「グツ．．．!」

ギロチン状の刃となった黒腕。赤い髪に黒井肌。そして背中から生えているギロチンの刃。そう、彼の名は“藤井蓮”。

「まだいるのか．．．!」

目の前に立ちはだかるラীগース細胞の大軍。その数は最早計り

知れない物だった。

——いや、そもそもこの宇宙を含め、様々な宇宙にそれら、即ちラীগース細胞が現れていた。

そして既に、この世界の「霸道神」や「求道神」の何人かは戦死しているのだった！

それは白き女王の世界でも同様であり、実力者の何人かは既に戦死しているのだ。

そう、それほどにまで「ラীগース」は進化していたのだ・・・！

——しかし、これは始まりに過ぎない・・・！

——この戦争は、更に激化していくことになるのだから・・・！